

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M343A301		グローバルコミュニケーション (Global Communication)					国際力強化科目群		対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
選択		2	3	医学部先進医療科学科	通年	他	英語	日本語		単独					
担当教員	氏名 長池 一美														
	E-mail nagaike@oita-u.ac.jp 内線 7953														
授業の概要	グローバル社会で必要な英語力の向上と国際感覚の向上のため、夏期休業などの長期休業中に大分大学国際教育推進センターが主催する協定校との海外短期語学研修を受講する。そのための情報収集と検討、計画、手続き、渡航準備、現地での生活なども指導する。海外短期語学研修により、実践的な異文化コミュニケーション能力の向上、国際理解を深めることを目指すとともに、海外生活に必要な危機管理能力を修得する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	グローバルレベルでの英語のコミュニケーション力の向上を目指す								○						
目標2	グローバルレベルでの異文化コミュニケーション能力の向上を目指す								○						
目標3	グローバルレベルでの多文化共生の理解を深める								○						
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
							各DPへの関連度(計10)			10					
授業の内容															
1	研修準備1:異文化コミュニケーション関連の講義複数回														
2	研修準備2:研修先の情報収集と検討、計画、手続き、渡航準備の講義複数回														
3	研修準備3:出発前の英語研修講義複数回(TOEFLもしくはTOEICの受験を含む)														
4	海外研修先でのプログラム参加														
5	研修後1:目標の到達度を中心としたふり返し、報告会準備の講義複数回														
6	研修後2:TOEFLもしくはTOEICの受験														
7	研修後3:報告会														
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラ イ ク ニ テ ィ グ ブ	A:知識の定着・確認	○					工 夫 そ の 他 の	グローバルレベルでのコミュニケーション力の向上を目指し、研修準備や研修後の講義も基本的に英語での教授とする(適宜、日本語での補足説明を行う)。							
	B:意見の表現・交換	○													
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造	○													
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	参考文献や自己学習として週に2時間の準備学習を課する。													
	事後学修	講義等での事後学習として週に1時間の事後学習を課する													
	想定時間合計	45													
教科書	教科書は使用しない。														
参考書															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	プレゼンテーション複数回（研修準備）	20%	○	○	○							
	現地での研修成果レポート ポートフォリオ	50%	○	○	○							
	最終プレゼンテーション	10%	○	○	○							
	オーラルテスト（英語）	20%	○	○	○							
注意事項	1) 研修大学先については担当教員が指定する（アテネオデマニラ大学＜フィリピン＞の 5 週間プログラムへの参加（2月中旬から 5 週間）。 2) 事前研修（研修準備）は9月に集中で行い、事後研修（研修後）は 3 月のプログラム終了後に集中で行う。											
備考	アテネオデマニラ大学＜フィリピン＞の研修参加費（授業料、寮費等）、渡航費、生活費、海外旅行保険、その他の経費は受講者の自己負担となる。経費は約60万必要になると思われるが、授業料、寮費、航空券の価格については値上がりが見込まれるため、60万円以上の経費が必要になる場合もある。											
リンク												
	URL											